

“木づかい”と快適なくらし

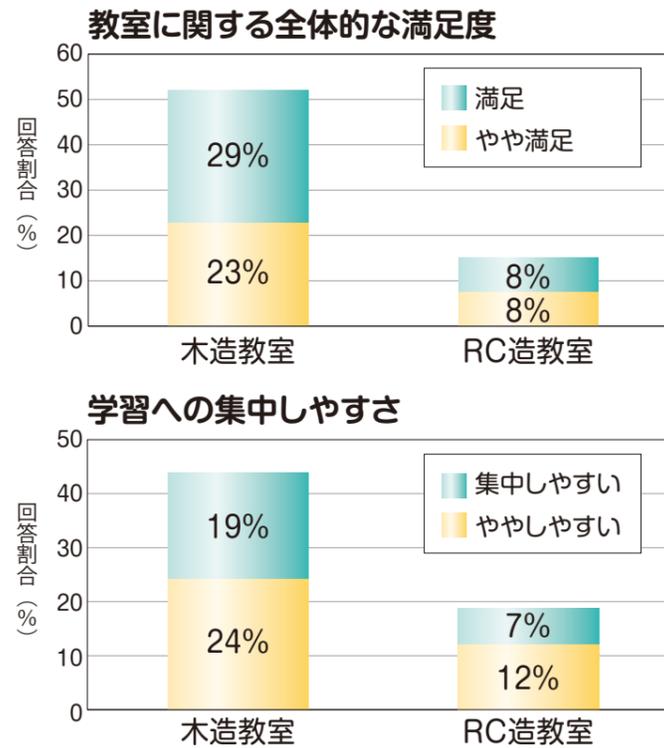
木をつかった建物等について、室内環境の快適性などに関する研究がすすめられています。

木造校舎に関する生徒のアンケート調査結果

木造校舎、鉄筋コンクリート造（RC造）校舎の両方の教室で過ごしたことがある高校生（109名）に対し、満足度を調査した結果、木造教室の満足度は、RC造教室の約3倍でした。

具体的には、「冬の室温の感じ方」「にほひ、ほこりっぽさ等の感じ方」「内装デザインへの満足度」「学習への集中しやすさ」「リラックスしやすさ」について、木造教室の満足度が高い傾向がみられました。

特に、「学習への集中しやすさ」については、木造教室の満足度は、RC造教室と比較して約2倍高い傾向が見られました。



木のリラックス効果に関する実験結果

スギやヒバといった材から発せられる香り成分を嗅ぐことにより、血圧や脳活動が落ち着いた状態になるという実験結果があります。

出典

- 平成26年度木材利用推進・省エネ省CO₂実証業務 報告書（林野庁）
- 木と森の快適さを科学する（2002年、宮崎良人著、社団法人 全国林業改良普及協会発行）

平成27年度木材利用推進・省エネ省CO₂実証業務（委託制作／株式会社三菱総合研究所）
問合せ mokuzai_info@mri.co.jp



環境

ひと

森

にやさしい“木づかい”

住宅

木づかいは、“木造住宅”の柱や梁（はり）だけではなく。窓サッシや、壁の内装として使うことで、断熱・調湿効果が期待できます。

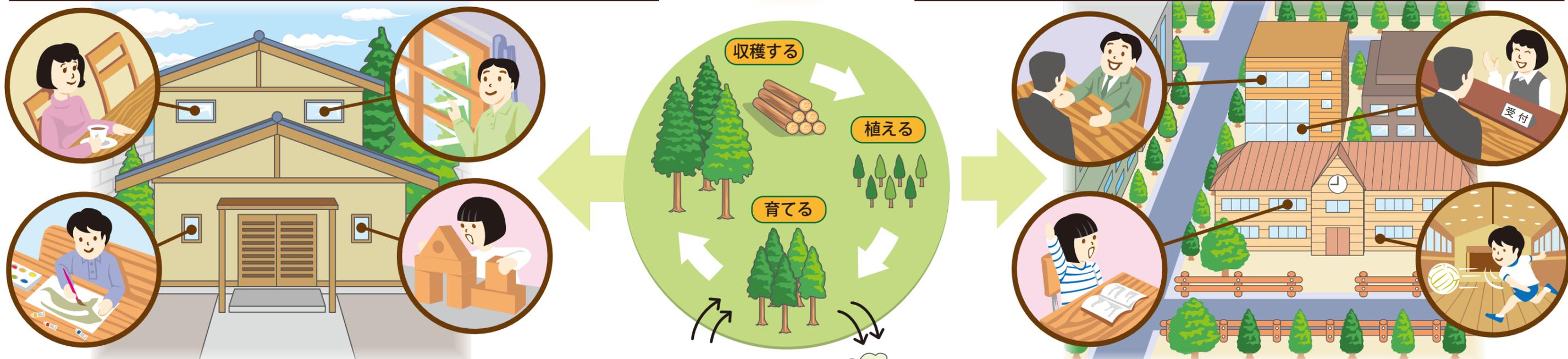


オフィス

「オフィスに木？」少し意外かもしれませんが、内装やデスク、パーティション、OAフロアなど、使える場面はどんどん増えていきます。



くらしの
いろいろな場面で
“木”が
活躍しています。



家具・道具

使うほどに、自然な風合いが出てくるのが特徴です。木の持つぬくもりや香りには、リラックス効果があるといわれています。



校舎

昔に比べると少なくなりましたが、様々な技術開発により、快適性などの面から、その良さが見直され、増えつつあります。



他にも…

まちなかには、まだまだ、“木づかい”がたくさん。例えば木製ガードレールや、橋、ダム、公園など、色々なところで木を使うことができます。



環境 にやさしい

木の建物や家具は、製造・利用方法によっては、製造～利用段階で排出されるCO₂などの環境負荷物質の排出量が少なく抑えられます。また、木は生長時にCO₂を吸収し、地球温暖化の防止に役立ちます。

ひと にやさしい

木には断熱性能や調湿機能があって、使い方によっては冷暖房の効率を高めたり、室内ですぐす人の快適性を高められます。

森 にやさしい

国産材を利用することにより、間伐や植林など森林管理のサイクルが回り、森を健全に保つことができます。国産材製品を末永く使うことはCO₂貯蔵にも一役買います。